

チェックポイントでのキリスト

2012年3月11日

ダニエル・ジャスター師の文からの引用

メシアニックジューの小代表団が今週、ベツレヘムでの「チェックポイント(訳注:検問所、確認点)でのキリスト集会」に参加しました。メシアニックジューとして私たちは暖かく迎えられ、私たちの視点を分かち合うよう招かれました。

この集会では、西岸地区と東エルサレムにいるパレスチナ系クリスチャンとイスラム教徒が不当に苦しめられていることに強烈な強調点が置かれていました。これらの証言は信用できるもので、痛みのもとなものでした。チェックポイントは好適例です。イスラエルはグリーンライン(訳注:イスラエルとパレスチナ暫定自治区の境界線)の西に(訳注:すなわちイスラエル側へ)テロリストや労働許可書がない人が入ってこないように、チェックポイント(訳注:検問所)が必要です。しかし、人々が毎日いくつかの検問所を群をなして通り抜け、3時間も待ち、仕事を開始する午前6時まであと30分という必要性はありません。

イスラム教徒によるクリスチャンへの迫害とイスラム過激派に対する危険は上記に比べあまり取り上げられませんでした。注意しておかねばならないのは、イスラエルがガザ占領を終わらせた結果、得たものはハマス、ミサイル、そして自爆テロリストでした。これは適切に強調されていませんでした。

何人かのパレスチナ系クリスチャンは、ユダヤ人の選びや彼らのこの地への帰還は神からのものだということを語るのが困難な様子でした。しかし、彼らは山上の垂訓を実践しようとし、そしてユダヤ人と聖地を共有することを求めています。彼らはこれらの問題に関しては非暴力的な対応を強調しています。愛の霊がこの集会で強く臨在していました。

この集会では二つの全体集会枠をメシアニックジューとエルサレムにある王の王集会(King of Kings Assembly)の牧師であるウェイン・ヒルスデン師に与えられました。ウェインは、ユダヤ人は継続して選ばれていること、そして彼らのこの地への帰還が聖書的な成就であるとすばらしい、また注意深い発表を行いました。ある者からは非常に否定的な反応がありましたが、しかし大半はウェインが言った事を聞いてその内容を吟味していた様子でした。[このメッセージを視聴される場合こちらをクリックして下さい。(英語です) (<http://www.youtube.com/watch?v=-Potf5l8KzI>)]

メシアニックジューの代表団は、反クリスチャン・シオニズムの主な提唱者のうち3人と重要な対話をすることができました。これにはウィートン・カレッジのゲイリー・バージ博士、聖公会教授のコリ

ン・チャプマン博士、そして司祭であるステファン・サイザー博士です。二つの件に関してローマ 11 章の約束であるイスラエルの回復に対する希望やイスラエルが元のオリーブの木に接ぎ木し直されることについて同意がありました。

[編集者からの注:アラブ・クリスチャンの中でも様々な見解の違いがあり、それはよりイスラエル寄りから、より反イスラエルのものがあります。チェックポイント集会に参加しなかったある人はこう言いました。「反イスラエルである集会をするのはフェアではない。あるいは私たちは反イスラムな集会を開くべきではないか。それが主な問題だ。」]

最初のボタン

アシェル・イントレーター

もし人がシャツのボタンをとめる時、正しくボタンをはめるならば、その他のボタンは正しくはめられます。もし人が正しくないボタンをはめてしまったら、すべてのボタンは間違っではめられます。では、聖書において「最初のボタン」はどこでしょうか。

聖書の全体は創世記 1 章から始まり、そこで神は物理的宇宙を創造されました。それは善いものであり、エデンの園に人がいて、それは大変善いものでした。聖書の最後の章（黙示録 21-21）は新天新地について述べています。

もし私たちが物理的な創造を善いものと見ないならば、聖書の終わりの部分を神が創造されたものを壊すものと解釈してしまいます。もし私たちが最初の章または「ボタン」を正しくはめるならば、私たちは聖書の終わりの部分を、万物の回復（使徒 3:21）、再生（マタイ 19:28）、自然の復活（ローマ 8:21）、そしてノアの日のように「天地」の刷新（Ⅱペテロ 3:5-13）として理解するでしょう。

聖書は、神と人が刷新した天と地において交流を楽しむところで終わっており、天地両方がメシアであるイエシュアによって一つにされる（エペソ 1:10、コロサイ 1:20）という神のご計画がすべて含まれています。

では新訳聖書の「最初のボタン」は何でしょうか。マタイ 1 章はイエシュアの家系図が書かれており、そこには主がダビデ王の子孫であることが強調されています。神はダビデに、彼の王座は永遠に続くこと約束されました（Ⅰサムエル 7:13、16；詩篇 89:3-4）そして、全地の支配が拡大する（イザヤ 9:7；ルカ 1:32-33）というものです。

もし私たちがイエシュアがダビデの子であるという、新約聖書の最初のボタンをかけ違えると、イエシュアは決してユダヤ人の王としての召命を成就することはなく（ヨハネ 18:37）、諸国を相続するこ

となく(詩篇 2:8)、地に平和をもたらす事はなく(ルカ 2:14)、そしてイスラエルに御国を回復させることはない(使徒 1:6)でしょう。

聖書は一貫しており最初から最後まで明確な計画が述べられています。最初から最後まできちんとボタンを正しくはめようではありませんか。それらはすべて神の御子でありダビデの子(ローマ 1:3-4)であり、アルファでありオメガであり、最初であり最後である(黙示録 1:8)イエシュア(イエス)にぴったりはまります。

エステル断食

アリエル・ブルーメンソール

先週の水曜日の特別な祈りの日に加わって下さった方々に多くの感謝を捧げます。12時間に及ぶ集中した祈りと賛美、そしてイスラエル、中東、そして世界の諸国に対する油注がれた執り成しが行われました。そこでは聖霊によるイスラム教徒のアラブ人への宣教そして地上の諸国に対する祈りの特別な強調点がありました。

それはイザヤ 56:7-8 の一種の成就です。

わたしは彼らを、わたしの聖なる山に連れて行き、わたしの祈りの家で彼らを楽しませる。彼らの全焼のいけにえやその他のいけにえは、わたしの祭壇の上で受け入れられる。わたしの家は、すべての民の祈りの家と呼ばれるからだ。イスラエルの散らされた者たちを集める神である主の御告げ。わたしは、すでに集められた者たちに、さらに集めて加えよう。」

ここに私たちイスラエル人メシアニックジュー(イスラエルにいる「のけ者」集団)が諸国のゲストたちと共に祈りの部屋に集まり、私たちと共に加わって下さっている世界中の人々(「他の集められた人々」と一緒にいるのです。それは正に「すべての諸国のための祈りの家」の日となりました。

ガザでの戦闘

今週末イスラエルとガザとの間で激しい戦闘がありました。イスラエルは主要なテロ攻撃を防ぎ、「パレスチナ民衆抵抗委員会」の指導者であるズハイル・アル・カイシを殺害しました。ガザはイスラエルに100発ミサイルを撃ち込むことで反撃しました。イスラエル空軍によるテロリスト攻撃を破壊する稀少な動画を含む記事全体は、エルサレム・ポストをご覧ください。(英語)

<http://www.jpost.com/Defense/Article.aspx?id=261222>